

市長選 決起集会

7月5日(土)
昼1時30分～3時

地場産業振興センター
5階ホール(紀三井寺)

主催/活気ある住みよい
和歌山市をつくる会
お誘い併せて
ぜひお越し下さい

市長選候補に中津たかしさん



—中津たかし氏の略歴—
和歌山県農業センター(現在の和歌山県農業大学校)卒。和歌山県農民農業団体連合会書記長などを歴任し、現在、農民運動全国連合会顧問。

8月3日告示、10日投票で行なわれる和歌山市長選に、「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」が中津たかしさん(66)の擁立を決めました。無所属で日本共産党推薦です。市長選には、自民・公明・民主が推薦する前の和歌山県県土整備部長や、前和歌山市議、元県議、現市議など中津さんを含めて6人が名乗りをあげています。

いま、安倍自公政権はクーデターの憲法解釈を変え、海外で戦争する国をめざしたり、消費税の大増税や医療・介護など根こそぎ改悪する暴走ぶりです。国の悪政の防波堤として首長の役割は重要です。暴走政治に推される人か、国の悪政にはつきりモノが言える人を選ぶかという大事な市長選です。長年、市民や農民に寄り添い続けてきた中津たかしさんに大きなご支援をよろしくお願いします。

県会議員 奥村のり子の 読者ニュース



2014年6月29日 第137号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

一般質問

小規模事業者問題、産廃、医療、介護など質しました

6月定例議会が終わりました。私は18日の一般質問で4点について質しました。

1つめは和歌山県は小規模事業者の割合が全国一高く、燃料・電気代・原材料の高騰などにより厳しい状況が続いています。県内の事業所は3年間で7%減少しました。昨年制定された中小企業振興条例で県の融資制度や金融機関の資金供給の円滑化など総合的な取り組みを強く求めました。

2つめは産廃行政について聞きました。県から停止命令を受けた産廃事業者の川産業の廃棄物処理場の原状回復についていただきました。野ざらしにされていた処理場の覆土について、どの予算でどれだけ使ったかと質しました。

3つめは国会で成立した「医療・介護総合法案」の問題を明らかにし、患者さんを病院から追い出すことのないよう、県民が安心して医療を受けられる体制づくりを求めました。

最後は看護職員不足問題をとり上げ、医療現場の勤務実態



市議補選に挑戦

こんにちは、中村あさとです。8月10日投票の市議補選まで2ヶ月を切りました。市長選挙も「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」の中津たかしさんの推薦が決まりました。選挙は目前です。精一杯頑張っています。

みなさんの御宅を訪問している、どこそで立ってたね、と声をかけて頂きます。まだまだ、訴えをしながら周りに気を配る余裕がなく、手を振って頂いた事に気づかない事もよくあります。声をかけていただく事が励みになります。ありがとございます。見かける事があれば声をかけて下さい。

先日、西小二里で訴えをしていると、「年金が減らされて生活ができなくなる。死ぬと言うのか、共産党もつと頑張れよ」と言われる方がいら

声をかけて頂くと大変励みになります



J R和歌山駅前での宣伝

つしゃいました。本当にそういう話がたくさん届きます。年金で暮らしておられる方々の厳しい生活が伺えます。戦中戦後、日本の復興と発展を支えた方々に対してなんて酷い仕打ちかと思えます。若い世代にもこうした政治のあり方に大きな不信が広がっていると感ずります。

私は、こんな政治を国政でも市政でも住民第一の政治に転換させるためには、日本共産党を大きくする事がいちばんだと思います。

党市会議員団は市民のみなさんと一緒に国保料の引き下げを訴え続けて来ましたが、今年度から僅かではあります。市は引き下げを発表しましたが、まだまだ不十分です。さらに引き下げるよう求めていきます。どうか、8月の補選では、日本共産党の議席を増やすため、応援よろしくお願いします。

党市・青年部長 中村あさと



(市議補選予定候補)

